

令和4年度

## 事業報告書

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月 31日

社会福祉法人青垣福祉会

理事長 足立 光藏

# 令和4年度 認定こども園あおがき 事業報告

## 1 概要

乳幼児期から自然体験を豊かに積み重ねる教育・保育を重視し、実践につながる環境作りに努めた。また子どもの人権を尊重し生きる力の基礎を培うため、以下のことに重点的に取り組んだ。

### (1) 乳幼児期の教育・保育の充実

- ・0歳児～2歳児は応答的なかかわりを大切にし足裏刺激などふれ合いを持つ。また戸外で身体をのびのびと動かし楽しめる経験を多く持つよう心掛けた。
- ・身近な自然に触れ不思議さを感じたり、おもしろいと思ったりする経験から友だちと話し合うなど自ら考える力を育んできた。

### (2) 保育の質の向上

- ・ユニバーサルなこども園づくりとして誰もがわかりやすい教育・保育に取り組み進めてきたが、学級運営ではさらにきめ細やかな対応に努める。
- ・子どもの姿の読み取り、保育者同士の対話を重視し、保育者自身が主体的に教育・保育の取り組みを進めた。

### (3) 地域との共生

- ・旧芦田保育園跡地を第2園庭として、四季を通して楽しめる樹木、築山、芝生広場（奉仕作業として親子での取り組み）等の環境作りをした。今後は、自然を体全体で感じながら遊べるよう計画を立て進めていくようとする。そのために「こども園応援隊」を募り、園、保護者、地域の方々とのかかわりを広げられるようにする。

コロナ禍を考慮した行事の見直し、改善を図りながらゲストティーチャーなど人とのかかわりが持てる環境を整え、取り組むことで人の温かさを感じ、感謝する心が芽生えた。

## 2 職員状況（令和5年3月現在）

職名	園長	副園長	主任	保育 教諭	看護師	調理員	業務 補助員	事務長	事務員	計
常勤	1	1	2	1 1	1	2		1	1	2 0
非常勤				1 3		2	2			1 7
合計	1	1	2	2 4	1	4	2	1	1	3 7

3 認定こども園あおがき園児数（令和4年3月現在）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
1号認定(教育標準時間認定)				1	3	4	8
2号認定(保育認定)				24	30	44	98
保育標準時間(11時間)				11	14	30	55
保育短時間(8時間)				13	16	14	43
3号認定	12	23	21				56
保育標準時間(11時間)	7	10	7				24
保育短時間(8時間)	5	13	14				32
合計	12	17	21	25	33	48	162

4 主な実施行事と地域との関わり

月	行事等	地域
4	5. 入園式	
5	10. 野菜苗植え 13. 交通安全教室 18. すぐすぐスマイル開始	30. ワクワクにこにこイングリッシュ（4、5歳児）
6	7. 参観日・給食体験会（5歳児） 14. 参観日・給食体験会（5歳児） 21. 参観日・給食体験会（5歳児）	1. JAさつま芋苗挿し（4歳児） 7~9. 青垣中学校トライやるウィーク 16. 氷上西高校ボランティア活動 22~28. 木育活動
7	5. 七夕夏祭り 12. プール開き 19. 消防署による総合訓練	5. あまごの日 12. 植野美術館鑑賞（4歳児） 13. 植野美術館鑑賞（5歳児）
8		4. 人形劇観賞会「ドリーム」
9	7. 野菜苗植え	29. JA芋ほり（4歳児） 8. ワクワクにこにこイングリッシュ（4.5歳児） 12. 氷上西高校ボランティア活動 22. しぜんえんそく（5歳児）
10	1. 運動会（1・2歳児） 15. 運動会（3・4・5歳児）和太鼓発表会 27. 内科検診	12. 運動遊び（住民センターアリーナ） 20. 秋の遠足（道の駅あおがき コスモス畑） 30. 八宿祭り和太鼓出演
11	10.0歳児参観日・もぐもぐ相談会 26. 生活発表会（1.2歳児）	
12	6.0歳児参観日・もぐもぐ相談会 9. 消防署による総合訓練 17. 生活発表会（3.4.5歳児） 21. クリスマス会	1. ちーたんサンタ来園 20. 青垣小学校5年生との交流会 22. しめ縄作り

1	11. 12. 13. 個別懇談会（5歳児・希望児） 13. とんど焼き	10. 新春お茶会 12. 氷上西高校ボランティア活動
2	3. 参観日 節分豆まき 7. 参観日 9. 参観日	1. 青垣小教師による出前授業（5歳児） 27. ワクワクにこにこイングリッシュ（4.5歳児）
3	2. お楽しみ遠足（福知山児童科学館） 3. ひな祭り会 8. お別れ会 24. 卒園式	10. 青垣小学校見学

## 5 教育・保育の実施内容

### （1）教育・保育の実践

#### 自然環境学習

- ・地域や園の周りの身近な自然にふれたり、グリーンベル青垣などの施設を活用したりして、五感で四季を感じる体験を持ち、教育・保育を進めた。

#### 運動遊び

- ・積極的に戸外遊びを行い、のびのびと体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにした。その中で、足裏刺激を意識し積極的に裸足で活動をしたり、「斎藤公子のリズム運動」を取り入れピアノに合わせて全身運動を行い発達を促すようにした。

#### 英語遊び

- ・英語講師により、学期ごとに、絵カード・ゲームなどを通して、英語に親しむ機会を持った。

#### 和太鼓遊び

- ・和太鼓遊びでは、5歳児「あおがき太鼓」、4歳児「青垣音頭」の曲太鼓を取り入れ、伝統文化に親しみつつ、礼儀やリズム感、情緒等を育むという目標を持ち取り組んだ。地域の祭りで演奏することで、子どもたちの自信につながった。

#### 道徳・人権教育

- ・互いの思いを伝える話し合いの場を設定し、相手の気持ちを考えたり互いに認め合い協調したりできるようなかかわりを大切にした。
- ・友だち同士で協力して物事を進めたり手伝いや片付けなどをしたりする中で、ありがとうの気持ちを伝え、自己肯定感を育めるようなかかわりを大切にした。

#### 特別支援教育

- ・「誰もがわかりやすいユニバーサルな学級経営」としてユニバーサルデザインを用い、子どもたちが見通しを持って進んで取り組めるようにした。
- ・必要に応じて保護者と相談しながら個別的な指導を進めると同時に、クラスなど集団での生

- 活を大切にし、その子どもを核とした活動を通し、学びにつなげた。
- 支援の必要な園児について、一人ひとりの発達や特性に応じた目標や内容、合理的配慮について、保護者と合意形成を図り、個別の指導計画を作成し、発達特性に応じた支援を提供するとともに、その都度柔軟に見直しを図った。

#### (2) 地域の方との関わり

- ゲストティーチャーによる、自然環境や伝統文化にふれる様々な体験活動（栽培活動・しめ縄作り・お茶会など）の機会を持った。
- 野菜作りを教わったり小豆、黒豆、さつまいもの栽培をさせていただいたりし、土に触れ自然の恵みに感謝し、自分たちで育て収穫することを楽しみ、食の循環を学ぶ体験をした。
- コロナ禍ではあったが、感染対策の上地域の小・中・高の児童、生徒とふれあい体験をし、交流をもった。

#### (3) 読み聞かせの習慣化

- 3・4・5歳児は月2回、絵本の貸し出しを行い、親子のふれあいにつながるようにした。

#### (4) 防災安全教育

- 遊びや生活の中で安全の習慣が身につくよう年齢に応じた配慮や指導の工夫（紙芝居や視覚教材を利用）を行い、子どもの危険予知能力の向上を図った。子どもたちの体験活動では、煙道体験をしたり5歳児は、丹波市役所青垣支所の備蓄倉庫の見学をしたりし、災害非常時の対応を知ることができた。
- 交通安全教室を実施し、交通指導員の寸劇や実際に横断歩道を渡る体験を通して、交通安全・危機意識の向上につながるような機会とした。
- 園独自で引き渡し訓練を実施した。また、園だよりで安全に対する取り組みを発信した。
- 避難訓練（月1回）やさすまた講習、心肺蘇生講習、マニュアル（衛生管理・食物アレルギー対応・重大事故防止・睡眠中の突然死予防&対応・熱中症対策・健康管理・防災・ひよこ組保育ほけん・通園バス安全対策・プール・障害者虐待防止・風水害避難確保計画）の活用、ヒヤリハットマップの作成を行い、教師が常に危機意識を持つことで、怪我や事故の防止に努め、安心・安全な教育・保育の充実が図れるようにした。また、睡眠時呼吸チェックを行ない、乳幼児突然死対策に努めた。
- 駐車場内及び、横断歩道での交通ルールの徹底が図れるよう職員と地域の方が見守り、必要に応じて横断指導を行っている。園だよりの配布により保護者にも啓発を行ったが、降園時にルールが守れない事例もあったのでさらに啓発や見守りをしていく。

### 6 食育と食物アレルギー対応について

- カミカミメニュー やコツコツメニュー、和給食など、給食の献立を工夫し、食の大切さを知らせた。

- ・すり鉢体験では、いりこ・ゴマ・ゆかりわかめなどを自分のすり鉢ですり、五感に働きかけ、味わう体験を通して感性豊かな味覚を育てている。
- ・給食を作っている過程をビデオで発信したり調理室見学をしたりして、さらに食への関心が広がるようにした。
- ・もぐもぐ相談会（0歳児対象）・給食試食会（5歳児対象）を実施し、離乳食の在り方や味覚の大切さ、献立内容・味付け・量など家庭に食の大切さを発信し、振り返る機会とした。
- ・食事摂取基準をもとに栄養摂取量・カロリーや栄養バランスを意識した献立を作成し、和食を中心メニューを提供した。
- ・食物アレルギー対応では、家庭と共に理解を図り、アレルギー食材の「見える化」に努め安心・安全な給食、おやつを提供した。
- ・給食だよりで家庭に知らせているメニュー以外で、園で収穫した野菜や地域の方からいただいた野菜などを用いて調理を提供する場合は、イロドリンクで各家庭に知らせ、安心・安全な給食を提供した。

## 7 安全・保健の取り組み

- ・バス置き去り事故防止対策として、バス対応マニュアルの見直しを行いバス降車時の車内点検の回数を増やし、一連の動きをフローチャートにした。また、バス対応職員研修を行い危機意識の向上を図った。
- ・昨年度作成した「重大事故防止マニュアル」「睡眠中の突然死予防&対応マニュアル」「ひよこ組保育ほけんマニュアル」「食物アレルギー調理提供マニュアル」を活用し、職員の共通理解を図り、在園中に起こりうる重大事故について職員の理解を深めた。
- ・救命救急講習では、より精度の高い人形を使用し心肺蘇生の技術を学んだ。
- ・ヒヤリハット事例を収集し、職員会議で公表、ヒヤリハットマップで掲示した。ヒヤリハットが報告にならず、危険を予測できる知識につながるようにしていく。
- ・毎月の部会議に看護師が参加し、一年を通じて感染症対策や熱中症対策についての細やかな情報の伝達・共有を行った。
- ・悪天候（雪）による安全確保のため、学校保健安全委員会の対面での実施は出来なかったが、資料の他に発表原稿やパワーポイント資料を委員の方々に見ていただき、当園の活動について理解を深めていただけたと考える。

## 8 学校関係者評価

- ・学校関係者評価委員による評価を実施した。取り組みだけに終わらず、振り返りを行い課題があれば改善策を探り、「より良く充実を図れている」と自己評価以上の評価をいただいた。今年度の成果と新たな課題を踏まえ、次年度の取り組みとする。

## 9 今後大切にすること

- ・第2園庭の活用のもと、自然にふれ知的好奇心を刺激しながら自ら考える力を育み、自己肯定感を高められるような自然体験を積み重ねていく。

- ・地域の方とのかかわりを広げ、「ありがとう」の感謝の気持ちや自ら挨拶できる子どもを育む。
- ・斎藤公子のリズム遊びを楽しみながら体軸や感覚を養い体の形成へをつなげていく。
- ・アプローチプログラムからスタートカリキュラムを活用し園小連携の充実を図る。
- ・生活安全への意識の共有と改善を図りながら、職員間のチーム力を高める。

## 令和4年度 研修報告

月	研修会名	出張先	主催	目的・内容	対象者
5月	地区別児童期と児童期の円滑な接続研修会	丹波市柏原町	兵庫県教育委員会	給食施設におけるアプローチ困難症例への関わり方を考える。	小森丈司
	福祉従事者新任職員研修（児童福祉・保育）	オンライン	兵庫県社会福祉協議会福祉人材研修センター	社会、地域における保育所・認定こども園の役割及び保育士・保育教諭に期待される姿勢・視点を理解するとともに、保育現場での意欲的な実践に繋げる。	中川ひなた 林亜実
	丹波市同教 第1回就学前部会	丹波市氷上町	丹波市人権・同和教育協議会	専門部活動の成果や課題・基本方針・重点目標について	吉住典子
	リズム運動・チャレンジタイム	猪名川町	猪名川町立松尾台幼稚園	全身を動かして体を動かすことを楽しみ、心と体を育む。	福垣美香代 小森丈司
6月	新任保育士フォローアップ研修会	神戸市中央区	兵庫県保育協会	勤務年数が1年の保育士・保育教諭が、専門職としての経験不足に伴う不安や葛藤、失敗等に対する気持ちを受け止め、次のステップに進むための意欲の向上	中川ひなた 林亜実
	丹波市幼児教育研修会	丹波市山南町	丹波市教育委員会	幼児にとってふさわしい教育の在り方の理解・資質向上・幼児教育の充実	池藤大誠
	キャリアアップ研修（幼児教育）	丹波市春日町	丹波市教育委員会	幼児教育に関する理解を深め、適切な助言や指導ができるよう実践的な能力を身に着ける	池藤大誠
	丹波市給食施設協議会	オンライン	丹波市給食施設協議会	給食をおいしく食べるための食環境や食卓の整え方	赤対ゆかり
7月	キャリアアップ研修（幼児教育）	丹波市山南町	丹波市教育委員会	幼児教育に関する理解を深め、適切な助言や指導ができるよう実践的な能力を身に着ける	高橋清美
	キャリアアップ研修（幼児教育）	丹波市氷上町	丹波市教育委員会	幼児教育に関する理解を深め、適切な助言や指導ができるよう実践的な能力を身に着ける	池藤大誠
	兵庫県人権教育研修会	丹波篠山市	丹波市人権・同和教育協議会	各分野においての実践について意見交換及び発表事例検討	足立恭子
8月	兵庫県認定こども園園長等研修	オンライン	兵庫県・兵庫県内認定こども園関係団体協議会	認定こども園の在り方を体系的に学ぶ。	足立美帆
	5歳児発達相談報告会及び研修会	丹波市柏原町	丹波市健康福祉部健康課	発達相談に関する検討会及び講話	足立由佳
	兵庫県幼児教育の理解・発展推進研究協議会	神戸市中央区	兵庫県教育委員会	運営・管理、保育技術等に関する専門的な講義、研究協議等を行うことにより幼児教育の振興・充実を図る。	竹村綾子
	丹波市給食施設協議会	オンライン	丹波市給食施設協議会	持続可能な給食・栄養管理	赤対ゆかり
9月	障害児保育研修会	オンライン	兵庫県保育協会	子ども同士や保護者との関わりに関する適切な働きかけや支援	足立由佳
	兵庫県認定こども園園長等研修	オンライン	兵庫県・兵庫県内認定こども園関係団体協議会	認定こども園の在り方を体系的に学ぶ。	足立美帆
10月	丹波市幼児教育研修会	丹波市山南町	丹波市教育委員会	幼児にとってふさわしい教育の在り方の理解・資質向上・幼児教育の充実	小森丈司
	幼児教育連携促進地区別研修会	丹波市柏原町	丹波市教育委員会	事例から学び、課題を見出し今後の活動に見通しを持ち、幼児教育施設・小学校・家庭との連携推進を図る。	小森丈司
	兵庫県認定こども園園長等研修	オンライン	兵庫県・兵庫県内認定こども園関係団体協議会	認定こども園の在り方を体系的に学ぶ。	足立美帆
	多可町保育士等キャリアアップ研修	多可郡多可町	多可町	保健衛生・安全対策について	近藤真奈
	丹波圏域給食施設協議会合同研修会	オンライン	丹波市給食施設協議会・丹波篠山市給食施設協議会	食品ロスの取り組み報告	赤対ゆかり
	丹波市幼児教育研修会	丹波市柏原町	丹波市教育委員会	幼児にとってふさわしい教育の在り方の理解・資質向上・幼児教育の充実	中川ひなた
	看護師部会研修会	丹波市柏原町	丹波市保育協会	小児救急：子ども園の職員にしつてほしいこと	安田千代 近藤真奈
	幼児教育研修会	猪名川町	猪名川町教育委員会	リズム運動の実技と講話	辻京子 吉住典子
	たんぽぽの会	丹波市氷上町	丹波市保育協会	情報提供および成果・課題の抽出	小森丈司
11月	たんば子ども安心ネット実務者研修会	丹波市氷上町	丹波市・丹波市要保護児童対策地域協議会	情報交換を行いながら課題を取り組む	竹安里美
	丹波市公開保育研修会にかかる指導助言及び協議	丹波市氷上町	丹波市教育委員会	丹波市公開保育研修会にかかる指導助言及び協議	池藤大誠
12月	「丹の里 人権のつどい」	丹波市春日町	丹波市人権・同和教育協議会	講演「自分らしく生きる」	安田千代 竹安里美
	施設長等オンライン研修会	オンライン	丹波市保育協会	見識を深めながら施設長間で情報交換を行い、課題に取り組むとともに、自己研鑽に取り組む。	安田千代
	丹波市学校保健会研修会	オンライン	丹波市教育委員会	これからの中学校薬剤師の活動について	竹安里美
	保育士人材採用力向上セミナー	豊岡市	株式会社明日香	採用担当者のための持続可能な人材採用手引きに沿って座学、ロールプレイング	竹安里美
	保育士人材採用力向上セミナー	丹波篠山市	株式会社明日香	採用担当者のための持続可能な人材採用手引きに沿って座学、ロールプレイング	安田千代
1月	管理職研修会	オンライン	兵庫県保育協会	チェックリストについて	安田千代
	子どもの人権を守る研修会（第2回目）	丹波市柏原町	丹波市健康福祉部子育て支援課	グループ討議、情報交換	安田千代 竹安里美 辻京子
	丹波市同教 第2回就学前部会	丹波市氷上町	丹波市人権・同和教育協議会	全国水平社創立100周年について	吉住典子

	たんぽぽの会	丹波市氷上町	丹波市保育協会	情報提供および成果。・課題の抽出	小森丈司
2月	職場充実研修会	神戸市	兵庫県保育協会	園内研修の進め方	竹安里美
	事例から学ぶ「リスクマネジメント研修会」	神戸市	兵庫県保育協会	情報管理や施設利用の際に起こり得る保護者間とのトラブルを未然に防ぐための方法	竹安里美
	ソーシャルワーク（社会福祉士）実習指導についての説明会	オンライン	武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科	実習の在り方について見直し、語り合う。	竹村綾子
3月	実習指導担当者育成研修会	神戸市	兵庫県保育協会	実習の在り方について見直し、語り合う。	辻京子